

第 1 回「厚生労働省と全国知事会との定期協議」について

1 概要

(1) 日 時 平成 20 年 7 月 28 日 (月) 15:00 ~ 17:00

(2) 場 所 都道府県会館 3 階 知事会会議室

(3) 出席者

厚生労働省 江利川事務次官

外口医政局長

上田健康局長

阿曾沼社会・援護局長

全国知事会 神田愛知県知事 (社会文教常任委員会委員長)

尾崎高知県知事

茂原群馬県副知事

安田三重県副知事

橋本奈良県副知事

藤井鳥取県副知事

高浜愛媛県副知事

立石長崎県副知事

仲里沖縄県副知事

(4) 議題と主な議論

医師確保対策について

全国知事会からは、医師不足の原因となっている医師の偏在の問題や臨床研修制度の見直し等について提案した。厚生労働省からは、いろいろな施策を組み合わせ、かつ各地域の実情に合わせて、きめ細かい対策を推進していきたいとの回答があった。

介護人材の確保について

全国知事会からは、介護人材を確保するための介護報酬の増額や介護職員に対する社会的評価を向上させる取組みについて提案した。厚生労働省からは、経営実態調査を踏まえ介護報酬の引き上げ幅を決定するとともに、介護の仕事が社会的に理解・認知されるように国として戦略的な広報をしていくとの回答があった。

新型インフルエンザ対策について

全国知事会からは、国家的危機管理の問題という観点に立ち、知事への権限付与に係る法整備やタミフル備蓄増に係る財政措置等について提案・要望を行った。厚生労働省からは、法整備については今後さらに検討することと、タミフルの備蓄増については、国と都道府県の折半が慣例ではないか等の回答があった。

その他 (がん対策等)

厚生労働省から、地域におけるがん対策の充実について依頼があった。また、長寿医療制度と療養病床の再編成について質疑応答を行った。

2 第 2 回については 10 月 23 日 (木) に開催